あの頃の津山

昭和20年代の中国銀行津山支店界隈の様子

写真提供・江見写真館

写真は、戦後、昭和20年代の元魚町で、現在の銀天街から郵便局の方に向けて撮影されたものと思われます。

写真左奥に写っているのは、当時の中国銀行津山支店です。中国銀行津山支店は京町にあった山陽銀行本店が、昭和5年に第一合同銀行と合併して誕生しました。

その後、昭和8年、津山貯蓄銀行があったこの写真の場所に新築移転し、昭和45年には現在の山下に移転しています。

銀行前の通りでは、スーツの上着を着ていない人や素足で下駄を履いている人が歩いている様子が見えます。また、浴衣姿で団扇（うちわ）を持って立ち話をしている女性も見えることから、暑い季節に撮影されたことが伺えます。

広報つやま平成26年2月号で、この写真とほぼ同じ場所から撮影した大正時代の写真を紹介しましたが、写真を比べると町の様子や歩く人の服装などが様変わりしていることがわかります。さらに現在では、この辺り一帯はアーケードのある商店街となっていて、時代の移り変わりが感じられます。

現在の元魚町

大正時代の元魚町

問津山郷土博物館
☎22-4567

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

つぶやき編集室

今月号の特集は、学生4名に協力していただき市内の各地を巡りました。普段、特集の取材は1人でするのですが、今回は広報担当職員4人全員で作成。(G)さんのラフを基に(♨)さんがディレクターとなり(雨)さんと(W)が写真撮影。今回のおかげで団結力が強まった気が…するのはわたしだけ!?(W)

特集記事のため、涼を求めて大学生と市内各地を取材しました。さまざまな涼しいスポットがあり、津山の魅力を改めて感じました。その後、家に帰ると晩御飯は鍋でした…鍋が大好きなわたしにとって、普段なら嬉しいことなのですが、この日は食が進みませんでした。体が涼を求めていました。(雨)

倉敷の友人が家族でわたしの家に遊びに来ました。クワガタやカブトムシを捕まえに行ったり、川で水遊びをしたりして楽しみました。友人の子どもが「魚が泳いでいるのが見えるよ！」と興奮した様子で言いました。川の水が透き通っているので、よく見えたのです。これも津山の魅力かな(♨)

今月の表紙

願いが叶いますように
七夕祭（浴衣登校）
7月6日（美作大学）

編集・発行（毎月10日発行）
津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 FAX0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
https://www.city.tsuyama.lg.jp/

☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから
https://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください